



介護記録について熱心に講演をする
福祉と介護研究所代表 梅沢佳裕氏

ケース記録事例3

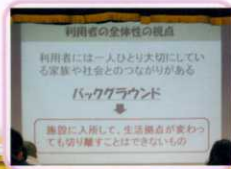
右下肢、傷(土)化膿(土)ゼンタンシ塗布す。
部位が大さっぱ過ぎる表現、もう少し特定して書く(+)は確認した方がいいと書く
次回も様子観察。脚立から落ちた時の傷のこと。主語がない文章、誰からの情報ですか？

寒さ厳しい中、八三人が参加し、閉館が間近の「みやぎ婦人会館」が、明日の高齢者福祉を担う参加者さんの熱気につつまれた一日でした。

ケアワーカー部門 研修会開催する

平成二十一年度職員研修会は、五月調理部門研修会を皮切りに、ケアプラン部門研修会、在宅部門研修会、看護師部門研修会と回を重ね、十一月には村井嘉浩知事を特別講師に招きトップセミナーを開催した。今年度最後の研修会は、二月十八日、みやぎ婦人会館にて、盛岡市の福祉と介護研究所代表、梅沢佳裕氏を講師に「介護記録の目的と書くための基本」について、研修をおこなった。

『記録の準備と心構え』
・どうして介護記録を書くの、その活用は？
業務中の介護行為やプロセスの振り返りのツール・道具として介護記録を活用する。
・介護記録は、介護スタッフの行った介護、つまり自分が直接関わったこと、自分が客観的に得られた情報を事実として形に残すものであり、チームアプローチとケアの連続性、継続性のために他スタッフと情報を共有するものである。



閉館間近のみやぎ婦人会館の講堂を埋めつくした受講者のみなさん

『記録としての文章の書き方』
・専門用語や記号、略語は使わない
・主語を忘れずに、5W1Hで書く
・文章を簡潔に助詞の「の」は、一センテンスに二回まで、能動態と過去形で書くこと
・句読点は、打つ位置によって意味が変わってしまうので注意！ 結論を先に。

『観察の視点と情報収集』
本人に注目し、情報を整理して観察の視点をもつことが大切
情報収集は、言語以外の環境やスキミングからも
今までの人生を知り、今を観察し記録。
利用者の主体性・社会性の視点を持つ…



閉会のあいさつをする
主藤実行委員長

私たちが何げなく書いている介護記録について、記録の目的や大切さ、また、観察の視点を持ち、情報収集することにより、活きた記録、記録としての文章になることが理解できた。
今回の研修をとおりして、介護職員として更にステップアップを図っていきたいと思います。更なる自己研修を期待します！



- お知らせ
部門別研修会は、新年度から職種別研修会に改編の予定です。
- 改正案
- ① 事務職員部門研修
 - ② 栄養・調理部門研修
 - ③ 介護職員部門研修
 - ④ 生活相談員部門研修
 - ⑤ 介護支援専門員研修
 - ⑥ 介護支援専門員研修

ノロウイルスによりご静養中の天皇陛下が、ご公務に復帰されたとのこと、同様の記事が紙面からたえることがない。会員のみなさんにはリスク管理のひとつとして対応の検討をお願いしたいものです。
研修会後にお送りしてきた「研修いいん会だより」は、新年度から新たに設置予定の、広報委員会にゆだねられることにいたしました。ご高覧いただきありがとうございます。謝々

今回の実行委員は、南風園・主藤園長
青風園・青砥美佐子、石巻市稲井ティサー
ピスセンター・坂井保史さんでした。
m.sto